

5 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1 本市における介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>【質問趣旨】 2015 年の介護保険制度の改正で、要支援者の訪問・通所介護は介護予防給付から地域支援事業へと移行した。また、介護認定を受けていない方でも受けられる支援サービスや介護予防事業などがあり、現在、全国の各市町村がそれぞれに取り組んでいる。本市においては 2017 年 4 月から新しい総合事業が始まり、まもなく 2 年が経つことから、事業の現状と今後について伺う。</p>	<p>(1) サービスについて</p>	<p>①生活支援訪問サービスの利用件数をみると 2017 年度は延べ 564 件が 2018 年 11 月末時点では 2404 件と増加している。この変化の理由を伺う。</p> <p>②2017 年度の生活支援通所サービスの利用は延べ 85 件、2018 年は 11 月末現在で延べ 114 件である。介護予防通所サービス利用者は 2017 年度は延べ 4009 件、2018 年は延べ 5233 件であり、生活支援通所サービスが非常に少ない状況であるが、どう分析しているか。</p> <p>③総合事業開始時に本市で新設が検討されていた「支え合い訪問サービス」が実施に至らなかった理由を伺う。</p> <p>④「介護予防教室」は 65 才以上の方が参加でき 2、3 ヶ月で全 6 回の運動プログラムなどが各事業者により開催されている。一方で「いきいきトレーニング」は要支援 1・2 またはチェックリストによる事業該当者が対象で、専門家による運動機能の向上を図る為の短期集中サービスを 6 ヶ月間で 6 回利用するコースとなっている。要支援者や該当者の方々こそ短期集中のプログラムを行う必要があると考えるが、平均して月 1 回というペースについてどのようにお考えか伺う。</p> <p>⑤短期集中サービスは、これまで名古屋学院大学に委託したサービスではバスが用意されているが、その他の場合には各自で向かうこととなっている。改善プログラムにより機能維持・改善が見込める方々が参加しやすいよう、今後、会場までの移動手段を検討すべきと考えるが見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

5 番	馬嶋 みゆき 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(2) 事業の効果について</p> <p>(3) 今後の展開などについて</p>	<p>①これまでの介護予防・日常生活支援サービス利用者の認定区分などの変化を伺う。</p> <p>②一般介護予防事業を受けた方々の身体的変化や意識変化に対する効果をどのようにとらえているか伺う。</p> <p>①ヘルパーなどの資格がなくても一部の介護保険サービスに従事する事が出来る生活支援員の資格講座の参加者は2017年度は32名、2018年度は13名と聞いている。参加者が減少した理由をどう分析しているか。</p> <p>②要支援の方々が要介護状態にならないよう身体機能を維持・改善するためには、利用者の状態に合った適切なサービスに繋げる必要がある。ケアプラン作成は経験やスキルが必要とされるが、適切なプランが作成されるよう質の確保への取り組みについて伺う。</p> <p>③総合事業を推進していく上で、現状とニーズの把握は欠かせないと思う。どのように把握していくのか伺う。</p> <p>④2025年に向けた計画として本市の総合事業が市民の身体機能の向上に効果的なものとなるよう、新たなサービスの創設も含め検討すべきと思うが、どのような見解か伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。